

連載 - 第7回 - *Recommended by the president*

経営者のおすすめをご紹介します

社長のRecommend

Pick Up! 今月はおすすめの映画をご紹介します

●今月のご紹介者

マルナガロジスティクス 株式会社 代表取締役社長 岡嶋 真司 氏



『バタフライ・エフェクト』

2004年アメリカ公開 2005年日本公開
監督：エリック・ブレス、J.マッキー・グラバー



【概要】

蝶が羽ばたくような小さな変化で、その後の状態が大きく変わっていくという「バタフライ・エフェクト」と呼ばれるカオス理論の一つをモチーフに、一人の男性が大切な人を守るために、自分だけでなく周りの人々の過去をも変えようとするSF映画である。しかし、過去の選択肢を変えたことによって変化した現在では、必ず主人公のエヴァン本人もしくは彼が救おうとした誰かが不幸になっていた。何度過去をやり直しても大切な人を幸せにできないと知った主人公は、ある決断をする…斬新で衝撃的なアイデア、練り込まれた脚本が受け、本国アメリカで初登場1位を記録した。

Q1 この映画と出会ったときのシチュエーション

10年以上前になりますが、レンタルショップで何気なく手に取ったDVDでした。バタフライエフェクトという言葉自体は知っていたので、それをどう映像として表現するのが気になり借りることを決めました。

Q2 どんなところが面白かったか

観るたびに印象が変わる作品があると思いますが、この映画はまさにその典型だと思います。基本は展開の早い、サスペンス色の非常に濃い内容でありつつ、しかし主人公の立場からは純愛映画ととることができる作品です。性格の変わらないエヴァンに対し、様々な立場のケイリーを演じるエイミー・スマートの好演と、光の表現なども印象的です。初めて観たときは結末に驚いただけで終わりましたが、今改めて観ると決断の大切さというものに気付かされます。

人生は小さなことから大きなことまで決断の連続です。例えば、今自分が向き合っている問題に対

し、下す決断が確実に正しいという保証はどこにもありません。ましてや、誰にとっても正しいかなんて、そんなことは絶対にわかりません。そう考えると、周りを気にして尻込みしたり、決断を先延ばししたりすることに、さほど意味はないのだと思います。

しかし、私達には感情があります。だからこそ迷いもします。鑑賞時は映画の主人公の葛藤に共感しつつも、私達は彼のようにやり直しがきかないからこそ、普段からしっかりと問題に向き合わなければ！と考えさせられる場面も多かったです。皆様も機会があれば是非ご鑑賞ください。



マルナガロジスティクス 株式会社

本社：兵庫県神戸市中央区京町7番2

資本金：1,000万円

従業員数：250名

事業内容：国際・国内物流業務ならびに

これに付随する関連業務一切

ホームページ：<https://marunaga-logis.co.jp/>